

# 建築家のパラドクス

～制御不能な野性の面影～

## 発見された名建築、D邸



**D邸再発見**  
 神奈川県川崎市にある山奥に存在する歴史的な建築。この邸が再発見されたのは、建築家D氏の遺稿からである。D氏は、この邸を自身の設計として建てたことが明らかになった。D氏は、この邸を自身の設計として建てたことが明らかになった。

## 建築家D氏、行方不明

**失踪の謎明らかにならず**  
 D氏の失踪は、この邸の再発見と同時に行方不明となった。D氏は、この邸を自身の設計として建てたことが明らかになった。

### T町廃村地域にて発見 近隣住民「話したことない」



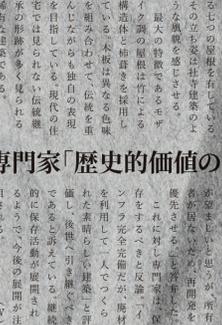
場所は、駅から徒歩二十分ほどの山奥にあり、周囲には廃村の跡が残っている。近隣住民からは、D邸の存在が知られていないという。D氏は、この邸を自身の設計として建てたことが明らかになった。

### 発見当時の状況



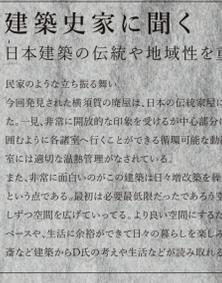
D邸は、発見された当時の状況から、かなり古くから存在していたことがわかった。D氏は、この邸を自身の設計として建てたことが明らかになった。

### 伝統継承への尊重



D氏は、伝統的な建築様式を尊重し、現代的な要素を取り入れつつ、独自の表現を追求した。D氏は、この邸を自身の設計として建てたことが明らかになった。

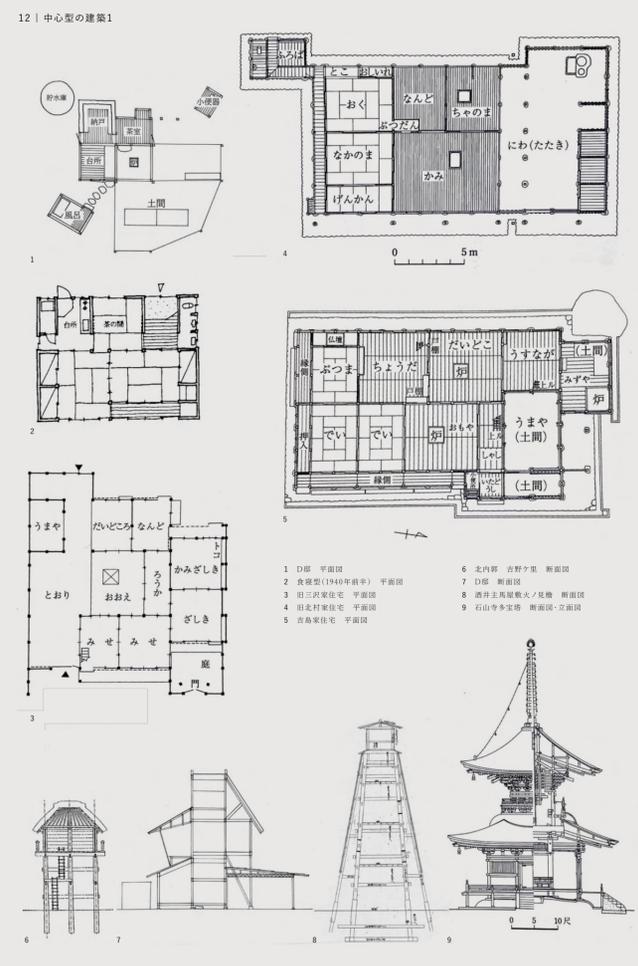
### 保存活動を引き続き



D邸の保存活動は、現在も継続されている。D氏は、この邸を自身の設計として建てたことが明らかになった。

### 建築史家に聞く

日本建築の伝統や地域性を重んじた建築家としてのD氏の意義について、建築史家のコメントが掲載されている。



## D氏のドローイング

～独創を目指すD氏の葛藤～

